

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

令和6年 1月19日

文責 富永 和重

「いのち」の授業

1月17日（水）に、本校の元校長先生だった中村美枝子先生がおいでになり、6年生に「いのち」についての授業をしていただきました。

取り上げられた資料は、「命を見つめて」という教科書にも載っているお話です。

大牟田にお住まいだった猿渡瞳さんは、6年生の時に骨肉腫という骨のガンに侵され、約1年半に及び闘病生活を送られました。残念ながら中学2年生の時にこの世を去られました。病氣と闘う中で「命の尊さ」や「本当の幸せ」とは何かについて真剣に向き合い、亡くなる2か月ほど前の弁論大会で、多くの人に訴えかけています。

弁論大会の原稿の中に次のような文があります。

「たとえ、どんなに困難な壁にぶつかって悩んだり、苦しんだりしたとしても命さえあれば必ず前に進んで行けるんです。生きてくても生きられなかったたくさんの仲間が命をかけて教えてくれた大切なメッセージを、世界中の人々に伝えていくことが私の使命だと思っています。」

私たちは、今生きていることをあまり深く意識せず、明日が来ることを当たり前にして日々を過ごしているかもしれません。しかし、瞳さんの言葉にあるように「生き続けることがこれほど困難で、これほど偉大なもの」であることを認識して、一日一日を大切に、しっかり前に進んでいかななくてはならないと感じました。

子供たち一人一人が、自分の「いのち」について、もう一度見つめ直し、どのように生きていくのか「生き方」を考えていってほしいと思います。

中村先生には、1月30日（火）にもおいでいただき、また6年生に「いのち」の授業をしていただく予定です。



燃えています！ スポーツチャレンジ

毎年チャレンジしている県主催の「スポーツチャレンジ」。今年も上位入賞を目指して取り組んでいます。

特に、「大縄跳び3分間チャレンジ」。

どの学年も、体育の時間や休み時間などを使って必死に記録を伸ばそうとしています。例年本校は優勝などの好成績を残しているの、子供たちもやる気満々、いや、気迫に満ちています。

みんなで円陣を組んで気合を入れる学年や、お互いに声を出してリズムを取り合う学年など、気合とチームワークも味方につけ、記録にチャレンジしています。

本日夕方が記録入力の締め切りです。いい結果が出るといいですね。何より、目標に向かって取り組む姿がすばらしい。



コイが～ 残念なお知らせです



校舎の運動場側にコイが泳ぐ池があります。全部で20匹ぐらいいたでしょうか。それが、今3匹に減っています。

年が明けて、何だか減っているぞと思ったら、どうも大きな鳥が食べているようです。網を被せて鳥が入れないようにしているのですが、ちょっとした隙間からくちばしを差し込んでいるようです。

対策を強化しているので、これ以上は減らないのではないかと考えているのですが、ちょっと寂しい感じがしています。

子供たちも寂しげに池を見つめています。